

両面印刷対応型 手動印刷機・NP-1000

独自の基板サポートシステムにより、両面印刷に対応！
垂直同時版離れ機構により、印刷後のハンダダレを軽減します！

特徴

大型基板 (MAX:440W × 310Dmm) に対応します。(適合版サイズ:550 × 650mmまたは550 × 600mm)

基板を浮かせて複数のピンで支える方式(基板サポートシステム)により、両面実装済基板の裏面へのハンダ印刷が可能。

印刷終了後、版を垂直に上げる機能を持っているので印刷後のハンダのダレを防ぎます。

外部電源を必要としないバキューム機構を内蔵 基板をベースにしっかりと固定できます。



仕様

装置寸法	(W)820 × (D)750 × (H)260mm	
装置重量	約40kg	
テーブル部	Wテーブル方式	
微調整機構	X・Y ±5.0mm ±2.0°	
適合版サイズ	5565枠または5560枠	
適合基板サイズ	最小	(W)50 × (D)50mm
	最大	(W)440 × (D)310mm
基板基準	外形基準 / ピン基準 共用可能 *ピン径は 3.0または 4.0のどちらかを指定	
基板固定	バキューム機構(内蔵)による	
マスク高さ	(基板面に対し)0からオフコンタクト任意設定可	

付属品

品名	数量
バキュームピン	4
バックアップピン	10
専用スキージ (幅:280mm/ホルダー付)	1
ガイドプレート / ブロックセット	1
外形基準ブロックセット	1
ピン基準ブロックセット (3.0/4.0どちらか)	1
サービスセット (試刷用シート、ウエス他)	1

拡大鏡オプションを用意

オプションの拡大鏡を併用する事で、ファインパターンの位置合わせをより早く確実に行う事ができ、作業後の印刷状態確認にも威力を発揮します。

拡大鏡の使用に際してはAC100V電源が必要です



マスクレベル維持開閉機構を採用



マスク上の全ての開口部が同時に同一速度で垂直方向に版離れできる構造になっているため、良好な版ヌケ性が実現できます。
マスクオープン時、マスクが水平のまま安定した状態で上がるので、ハンダダレが軽減され、適正な形状が保たれます。

両面印刷を可能にする独自の基板サポートシステム

部品がすでに実装された面を下側に向け、裏側にハンダを印刷するためのサポートシステムで、基板を浮かせるために部品を避けながらピンで支える構造です。

基板の端面をコーナブロックで固定し、さらに外形基準ブロックまたはピン基準ブロックで基板の外周をサポートします。
さらにバックアップピン(バキュームピンおよびマグネットピン)を、裏面部品の無い位置に立てて基板全体を支えます。(バキュームピンは外部エアーを必要としません)

(写真はピン基準ブロック使用時)

